平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月13日

上場会社名　株式会社フェローテック　　上場取引所　大
コード番号　6890　URL　http://www.ferrotec.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 山村　章
問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長　(氏名) 山村　丈　TEL 03-3281-8186

四半期報告書提出予定日　平成24年2月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	49,776	25.2	4,544	4.4	3,671	△2.0	2,174	△18.0
23年3月期第3四半期	39,753	79.3	4,353	―	3,745	―	2,652	―

(注)包括利益　24年3月期第3四半期　1,415百万円　(22.6%)　23年3月期第3四半期　1,154百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	76.45	74.98
23年3月期第3四半期	106.95	105.41

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	75,324	34,102	44.1
23年3月期	61,499	25,564	40.1

(参考) 自己資本　24年3月期第3四半期　33,233百万円　23年3月期　24,660百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	0.00	―	20.00	20.00
24年3月期	―	0.00	―		
24年3月期(予想)				20.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無
平成23年3月期期末配当金の内訳　普通配当　18円00銭　会社設立30周年記念配当　2円00銭

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	63,000	8.8	5,200	△25.0	4,200	△33.2	2,700	△39.8	93.16

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧下さい。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	30,705,663 株	23年3月期	25,088,592 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	93,344 株	23年3月期	93,344 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	28,442,709 株	23年3月期3Q	24,803,678 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示
この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧下さい。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
（４）追加情報 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 10
（５）セグメント情報等 …… 10
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当事業年度の第３四半期連結累計期間における経済環境は、新興国でのインフレ抑制を目的とした金融引締めの影響やユーロ圏での財政問題の長期化などにより、実体経済が減速気味となり先行き不透明感が増しております。さらに為替市場では、主要通貨に対し著しい円高が続いております。

当社グループの属するエレクトロニクス産業では、半導体・ＬＥＤ・ＦＰＤ業界においては、スマートフォンやタブレット端末が好調でしたが、薄型ＴＶや他の電子機器の販売などに減速感が強まっております。加えてタイの洪水による影響もあり、電子部品等の一時的な減少を受け、製造装置向け製品や製造プロセスに使用されるマテリアル品の需要が減少いたしました。太陽電池業界では、太陽電池セルやモジュールの在庫が余剰なことから太陽電池パネルの価格下落が続いたため、各太陽電池メーカーは生産調整を余儀なくされ、新規設備計画の延期など投資意欲は後退しております。

このような事業環境のなか、当社の装置関連事業におきまして、半導体製造装置やＦＰＤ製造装置向けの真空シールの需要が減少し、半導体製造プロセスに使われるマテリアル製品も売上高が減少傾向となりました。太陽電池関連事業につきましては、市況悪化のため太陽電池用シリコンなどの市場価格が下落し、売上高が減少となりましたが、消耗品である石英坩堝については順調に出荷が進みました。また、電子デバイス事業におきまして、主力の自動車温調シート向けサーモモジュールの売上高は、ほぼ計画のとおりとなりました。

この結果、連結売上高は497億76百万円（前年同期比25.2%増）、連結営業利益は45億44百万円（前年同期比4.4%増）、連結経常利益は36億71百万円（前年同期比2.0%減）となりました。連結四半期純利益につきましては21億74百万円（前年同期比18.0%減）となりました。

セグメントの状況は以下のとおりです。

（装置関連事業）

当該事業の主な製品は、真空シール、石英製品、セラミックス製品、シリコンウエーハ加工などです。

半導体及びＦＰＤ各種製造装置に使用する真空シールは、半導体及びＦＰＤ向けの設備投資やＬＥＤ製造装置の設備投資が一巡したため需要が減退し、デバイスメーカーの装置稼働率も低下したため、石英製品、セラミックス製品など製造プロセスに使用するマテリアル品の需要も減少に転じました。

なお、新興国市場向けＬＥＤ蒸着装置の普及版の開発ならびにセラミックス製品の新材料開発に取組んでおります。

売上高は230億22百万円（前年同期比5.7%増）、営業利益は24億28百万円（前年同期比6.0%増）となりました。

（太陽電池関連事業）

当該事業の主な製品は、シリコン結晶製造装置、角切ソー、石英坩堝、太陽電池用シリコンなどです。

シリコン結晶製造装置は、売上高は、ほぼ計画のとおりとなりましたが、太陽電池用シリコンは、太陽電池用セルや同ウエーハの価格下落が続き、売上高は減少となりました。また、消耗品である石英坩堝の売上高は底堅く推移しました。

売上高は235億80百万円（前年同期比83.2%増）、営業利益は12億85百万円（前年同期比28.2%増）となりました。

（電子デバイス事業）

当該事業の主な製品は、サーモモジュール、磁性流体などです。

主力の自動車温調シート向けサーモモジュールは、一時的な在庫調整の要請により減少となりました。民生製品向けの家電需要が減退したものの、バイオや光通信向けなどは底堅く計画どおりに推移しました。

なお、省エネ製品に欠かせない、パワーデバイス用基板の開発に取組んでおります。

売上高は43億11百万円（前年同期比16.5%減）、営業利益は5億75百万円（前年同期比32.5%減）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第３四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ138億24百万円増加し、753億24百万円となりました。これは主にたな卸資産と有形固定資産の増加によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ52億86百万円増加し、412億22百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金と短期借入金の増加によるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ85億37百万円増加し、341億2百万円となりました。これは主に資本金、資本剰余金の増加と利益剰余金の増加によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第３四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ32億93百万円増加し、106億4百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

税金等調整前四半期純利益32億54百万円に、減価償却費20億66百万円、仕入債務の増加額25億27百万円を加え、たな卸資産の増加額39億9百万円、売上債権の増加額21億19百万円などを差し引き、営業活動の結果得られた資金は13億90百万円（前年同期比3億73百万円増）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は80億39百万円（前年同期比55億6百万円増）となりました。これは主に有形固定資産の取得によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は101億21百万円（前年同期比70億27百万円増）となりました。これは主に公募による増資と短期借入金の増加によるものです。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年３月期通期の業績予想については、平成23年11月14日の公表値から変更ありません。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（４）追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

第１四半期連結会計期間の期首以後に行なわれる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正により、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号　平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号　平成21年12月４日）を適用しております。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,310,916	10,604,161
受取手形及び売掛金	15,426,473	16,694,834
商品及び製品	2,426,693	4,122,682
仕掛品	2,362,865	2,189,774
原材料及び貯蔵品	4,524,490	6,520,476
その他	4,218,849	5,512,870
貸倒引当金	△136,713	△309,503
流動資産合計	36,133,574	45,335,296
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,538,439	4,402,721
機械装置及び運搬具（純額）	6,319,513	6,580,886
工具、器具及び備品（純額）	3,352,713	4,481,214
土地	2,792,923	2,719,133
リース資産（純額）	16,035	34,922
建設仮勘定	2,184,885	6,223,724
有形固定資産合計	19,204,510	24,442,602
無形固定資産		
のれん	1,563,200	1,212,590
その他	1,249,153	1,122,166
無形固定資産合計	2,812,353	2,334,756
投資その他の資産		
その他	3,688,727	3,602,654
貸倒引当金	△339,618	△391,266
投資その他の資産合計	3,349,109	3,211,388
固定資産合計	25,365,973	29,988,746
資産合計	61,499,547	75,324,043

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,708,518	10,800,785
短期借入金	7,081,077	11,860,842
1年内返済予定の長期借入金	3,753,608	3,106,794
未払法人税等	557,887	520,829
賞与引当金	456,544	717,581
災害損失引当金	124,000	－
その他	5,166,813	5,624,826
流動負債合計	25,848,449	32,631,659
固定負債		
社債	150,000	－
転換社債型新株予約権付社債	1,800,000	200,000
長期借入金	6,305,858	5,762,132
退職給付引当金	87,899	146,744
役員退職慰労引当金	82,520	87,170
資産除去債務	93,116	115,626
その他	1,567,499	2,278,705
固定負債合計	10,086,893	8,590,377
負債合計	35,935,343	41,222,037
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,234,329	13,101,346
資本剰余金	9,836,240	13,703,254
利益剰余金	8,377,806	10,052,220
自己株式	△86,297	△86,297
株主資本合計	27,362,078	36,770,522
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	210,547	162,282
為替換算調整勘定	△2,912,307	△3,699,171
その他の包括利益累計額合計	△2,701,760	△3,536,889
少数株主持分	903,886	868,372
純資産合計	25,564,204	34,102,005
負債純資産合計	61,499,547	75,324,043

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）
売上高	39,753,616	49,776,417
売上原価	27,128,533	35,793,785
売上総利益	12,625,082	13,982,631
販売費及び一般管理費	8,271,453	9,438,243
営業利益	4,353,629	4,544,388
営業外収益		
受取利息	77,467	72,594
補助金収入	－	87,756
その他	196,803	104,573
営業外収益合計	274,271	264,924
営業外費用		
支払利息	315,896	429,472
支払手数料	－	123,810
為替差損	447,860	363,837
その他	118,180	220,590
営業外費用合計	881,937	1,137,710
経常利益	3,745,963	3,671,601
特別利益		
投資有価証券売却益	48,526	4,113
貸倒引当金戻入額	36,955	－
前期損益修正益	51,976	－
固定資産売却益	6,883	4,493
災害損失引当金戻入額	－	65,992
その他	－	12,620
特別利益合計	144,342	87,220
特別損失		
前期損益修正損	9,372	－
固定資産処分損	26,807	93,248
関係会社株式売却損	－	9,957
投資有価証券評価損	－	91,837
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	60,646	－
減損損失	81,987	－
災害による損失	－	29,011
任用契約一括償却損	－	170,909
その他	844	109,736
特別損失合計	179,658	504,701
税金等調整前四半期純利益	3,710,647	3,254,120
法人税等	1,039,256	985,870
少数株主損益調整前四半期純利益	2,671,391	2,268,250
少数株主利益	18,606	93,931
四半期純利益	2,652,785	2,174,318

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	2,671,391	2,268,250
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△88,985	△48,484
為替換算調整勘定	△1,424,988	△784,622
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,704	△19,312
その他の包括利益合計	△1,516,678	△852,418
四半期包括利益	1,154,713	1,415,831
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,154,932	1,339,189
少数株主に係る四半期包括利益	△219	76,641

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,710,647	3,254,120
減価償却費	1,949,422	2,066,641
減損損失	81,987	－
のれん償却額	317,459	334,674
退職給付引当金の増減額（△は減少）	22,057	58,844
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	13,322	4,650
賞与引当金の増減額（△は減少）	568,977	294,733
貸倒引当金の増減額（△は減少）	300,146	239,645
災害損失引当金の増減額（△は減少）	－	△124,000
受取利息及び受取配当金	△88,160	△77,545
支払利息	315,896	429,472
株式交付費	－	42,049
社債発行費	12,860	－
為替差損益（△は益）	217,623	13,437
持分法による投資損益（△は益）	△21,523	17,857
固定資産売却損益（△は益）	△6,883	△4,493
固定資産処分損益（△は益）	26,807	93,248
関係会社株式売却損益（△は益）	－	9,957
投資有価証券売却損益（△は益）	△48,526	△4,113
投資有価証券評価損益（△は益）	－	91,837
任用契約一括償却損	－	170,909
売上債権の増減額（△は増加）	△6,538,681	△2,119,687
たな卸資産の増減額（△は増加）	△3,550,478	△3,909,558
仕入債務の増減額（△は減少）	3,858,420	2,527,204
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	60,646	－
その他	666,559	△447,622
小計	1,868,582	2,962,262
利息及び配当金の受取額	86,751	77,911
利息の支払額	△305,764	△444,345
法人税等の支払額	△632,174	△1,204,862
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,017,394	1,390,967

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	1,434,227	－
有形固定資産の取得による支出	△3,362,031	△7,602,859
有形固定資産の売却による収入	34,659	145,653
投資有価証券の取得による支出	△85,594	△1,142
投資有価証券の売却による収入	79,379	28,868
連結子会社株式の追加取得による支出	－	△29,689
関連会社株式の取得による支出	－	△35,164
子会社株式の売却による収入	26,180	－
事業譲渡による収入	－	69,966
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△416,512	－
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	－	△446,424
貸付けによる支出	△2,200	△40,413
貸付金の回収による収入	21,030	14,020
その他	△262,281	△142,530
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,533,143	△8,039,713
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	973,586	4,979,445
長期借入れによる収入	3,044,629	2,436,192
長期借入金の返済による支出	△2,542,990	△2,818,997
リース債務の返済による支出	△46,159	△49,990
新株予約権付社債の発行による収入	1,987,139	－
株式の発行による収入	－	6,091,983
少数株主からの払込みによる収入	11,000	5,000
配当金の支払額	△297,313	△498,090
少数株主への配当金の支払額	△36,000	△23,751
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,093,893	10,121,791
現金及び現金同等物に係る換算差額	△354,100	△179,800
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,224,043	3,293,244
現金及び現金同等物の期首残高	5,867,737	7,310,916
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,091,781	10,604,161

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

当第３四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他(注1)	合計	調整額(注2)	四半期連結損益計算書計上額(注3)
	装置関連事業	太陽電池関連事業	電子デバイス事業	計				
売上高								
(1)外部顧客への売上高	20,145,383	23,510,119	4,311,191	47,966,693	1,809,723	49,776,417	－	49,776,417
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	2,877,338	70,390	－	2,947,728	－	2,947,728	(2,947,728)	－
計	23,022,721	23,580,509	4,311,191	50,914,422	1,809,723	52,724,145	(2,947,728)	49,776,417
セグメント利益	2,428,944	1,285,209	575,933	4,290,088	319,286	4,609,374	(64,986)	4,544,388

（注）１　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソーブレード、装置部品洗浄、工作機械、表面処理等の事業を含んでおります。

２　セグメント利益の調整額△64,986千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社資産の減価償却費等であります。

３　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、当第３四半期連結累計期間において、第１回無担保転換社債型新株予約権付社債の新株予約権の行使により、資本金及び資本準備金がそれぞれ800,000千円増加しております。

当社は、平成23年７月27日を払込期日とする一般募集による増資により、資本金及び資本準備金がそれぞれ3,017,900千円増加しております。

当社は、平成23年８月24日に第三者割当（オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資）により、資本金及び資本準備金がそれぞれ49,116千円増加しております。

当第３四半期連結会計期間末において資本金が13,101,346千円、資本準備金が11,806,272千円となっております。